長洲町立長洲小学校 校長便り No.107

みんなの居場所の裏面は、小学生に 必要ではないかと思う問題。 貫用句等々を載せていきます。 ご家族の団らんの話題にしてみてくだ さい。会話が広がほす。

令和5年7月13日(木)

自身のカラーを織り込んでいった。 併せて多くの研究発 て優れた実践を真似ることで授業の流し方を学び、自分 を図るため、30代前半は多くの教育書を読んだ。そし えたのだ。それまでの自分はかなり適当な仕事をしてい 柱であること、仕事をして対価として給料を戴くことを って仕事に対する考え方が変わった。自分が一家の大黒 表校を見せて頂いた。 何となく授業が流せるようになっ たような気がする。 考えると、仕事に対する真摯な姿勢は絶対に必要だと考 気持ちを入れ替え、教職のテクニカル・スキルアップ

頼った先輩方は、いつもにこやかに、そして優しく多く り合う中でその答えを探そうとしていた頃である。私が いものは何なのかは、とうとう分からずじまいだった。 盛りについて教えてくださるだけだった。自分に足りな の先生方は授業の流し方の工夫や生徒指導、学級の切り のことを教えてくれた。大変勉強になったのだが、殆ど ないか自分では分からなかったので、多くの先輩方と語 何が自分に足りないのか分からないまま、40代後半 30代後半、何かが足りないと感じ始めた。何が足り

日々の生活の中で自分自身の人格を磨き続けることが重 キルはどうだろう。スキルアップを図ろうとしても一朝 ルスキルを上げることができる。しかし、ヒューマンス という気持ちさえあればそれなりのレベルまでテクニカ 換えるならば、私に足りないものを持っている人達だっ ゆる「人たらし」という先輩達だったように思う。言い が、その先輩方に共通しているのは「話しかけやすい人」 とを教わった先輩方のことをよく思い出しているのだ まで時は流れることになった。この頃若い時に多くのこ 要だと思う。 心がけて生活していきたいものだ。 たような気がしている。 し付けない人」、「向上心のある人」 ということだ。 いわ 「優しい人」、「分かりやすい人」、「自分の考えだけを押 タにはいかないのではないだろうか。 ということは、 若さは爆発的なエネルギーを包含していて、

頑張ろう

金では買えない掛け替え 乗り越えた時の喜びは、お あると思つ。でも、それを するからだ。できないから 消えてしまうような気が うになると、喜びもすぐに なかろうか。 のないものになるのでは かかるし、苦しみや辛さも 成までの過程では、時間も 努力を積み重ねる。目標達 も、何でもすぐにできるよ るようになった。というの 最近、この状況を楽しめ

たかなと思い始めた頃である。

ろうか。それが自分を磨く を上げていくのではなか が、仕事人としてのスキル き合い、もがき苦しみ、努 も真摯に謙虚に仕事と向 待できない。誰でもそんな き苦しむのが普通だ。そう 即戦力としての人材を求 力で前に進んでいくこと でなければ、後の伸びが期 上、採用後5~6年はもが めがちだが、私はそんなフ と思っている。私の経験 ーパールーキーはいない ことにつながると思う。 時期はある。苦しい時期に 職業の現場では、とかく

だ。だからこそ努力して自 だの人」だ。しかも、仕事 に関してはかなり不器用 私は何もしなければ「た

いと思っている。 分を磨かなければならな

【雑感】 ヒューマンスキルの向上

若い頃、20代後半、自分が結婚したということもあ 仕事について、私自身の個人的な思いを綴ってみたい

編成、リーダーの設定、ルール作り…、多くのやるべき事があります。その仕事 それに向けて活動を起こすようにしていました。2つの行事は、実施に向けて班 の多くを子供達が行いました。自治です。 しまうと問題が起こりやすくなりますので、私は夏休み中に行動目標を設定し、 ンプ」と「ナイトハイク」に向かって動き始めます。梅雨の時期、目標を失って 運動会が終わると、私が担任していた学級は、夏休み中の2大イベント「キャ

そんな時間も楽しそうでした。前に進んでいるという充実感だったのでしょう。 子供達は嫌な顔一つせず活動していました。 殆どの子供達が学校に来ます。宿題をすることと、行事の準備の為ですね。でも、 達6年は、行事実施に向けての活動が本格化します。2つの行事が終わるまで、 夏休み前の終業式を終え、他学年はホッとしていたことでしょう。しかし、

述しませんが、行事一つ一つに主体的、協働的に取り組ませることで、子供達は 允実した毎日を送ることとなりました。 キャンプやナイトハイク当日の様子はこれまでにお話ししましたので詳しく記

それが、当時の学級に降りかかってくるとは思いもしませんでした。確か、 す。と言いますのは、当時、新型インフルエンザが問題になり、1人でもインフ 日の

同だったと

思います。
ある
保護者から

連絡が入りました。 ルエンザが発生した場合、学級閉鎖の処置をとるということになっていました。 と、次々に目標をクリアしていきました。特に私の心に残っているのが音楽会で その後、子供達は陸上記録会、玉名東地区音楽会(だったかな?)、学習発表会

「息子がインフルエンザになりました。」

披露する機会を得て、人気のバンドとなりました。 だのだと思います。その後、「ニュー・タイプ」は、 を忘れなかったから、「思い出作り」を忘れなかったからこそ、この名前が浮かん です。よくこんな名前が浮かぶものです。多分、何が起こっても「楽しむ」こと 自分達で考えたバンド名を頭に浮かべていました。その名も「ニュー・タイプ」 ビッグバンドジャズの人気曲ですね。ノリノリの曲の演奏をしながら、子供達は 私達が会場に入ると、どよめきが起こりました。学級閉鎖明けということはすで 談して、演奏直前に会場入りし、演奏直後に会場を出るということになりました。 鎖明けで半分も欠席者がいる状態で何もしない訳にはいきません。事務局とも相 に「どうする? 出る?」と聞くと、二つ返事で「出ます!」 しかし、学級関 でした。学級閉鎖が明けて、出席した子供達の数は…。何と半分でした。子供達 て頂きながら練習した曲です。子供達も私も、できるならば出たいという気持ち ってすぐに実施予定となっています。音楽の苦手な私が他の先生方にサポート とになりました。しかしながら、音楽会は実施される訳で、学級閉鎖期間が終わ に情報として伝わっていたようです。曲目は「シング・シング・シング」です。 何~って感じでした。直ちに校長先生に連絡を取り、学級閉鎖の連絡を行うに 地域でも学校でもその演奏を つづく

)